

鳥取県西部地震発生から10年がたちました

2000年10月6日に発生した、鳥取県西部地震発生から10年が経過しました。
平田出張所の管内（宍道湖の西岸）においても、この地震により少なからず被害を被りました。
今回の平田出張所便りでは、地震後復旧された宍道湖西岸の堤防の現状を報告します。

鳥取県西部地震

鳥取県西部を震源とした、最大震度6強、マグニチュード7.3の地震。
北は新潟県、南は鹿児島県まで地震を観測した。
平田出張所管内の自治体においても、最大震度5弱を観測した。（斐川町）



被災状況写真（宍道湖西岸平田地区）



被災状況写真（鳥取県境港市弓浜干拓地先）

宍道湖西岸 湖岸堤整備方針

宍道湖西岸の護岸整備については強度・耐震性に加え、自然環境、景観に配慮し川面側（宍道湖側）の勾配を5割、川裏側を2割として整備しています。

また、自然環境に考慮し本来工事で使用するコンクリートブロック等は極力使わず木・石・土を基本に施工されています。



宍道湖西岸なぎさ公園（斐川町）

平田出張所便り

第13号 (10月12日版)

2/2

出雲市平田町出島地先



地震前



施工直後 (平成14年)



平成22年度

斐川町三分市地先



地震前



施工直後 (平成14年)



平成22年度

～ ひとこと ～ (担当者)

私事ですが、地震当時は震源地より約10km離れたのダムの管理所に勤務していました。目の前で山が崩れたり、落石などで昨日まで通れた道が通れなくなったり、地震後の対応で数日間帰宅できなかったり、余震の度に施設の点検を行ったりと、大変だった事を思い出します。